

県立市原八幡高等学校

目 標

- ・ 海外の国々の文化や生活及び仕事について知り，興味関心を高めさせる。
- ・ グローバル化が進む社会において，国際理解の必要性を認識させる。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年11月21日（水）13時15分から16時
- (2) 会 場：本校図書室
- (3) 留学生等：会社員4名（フィリピン国籍）
- (4) 参 加 者：第1学年生徒16名、第2学年生徒8名、第3学年生徒16名、教員5名、
計 45名
- (5) 内 容：
 - ・ プレゼンテーション（自国の生活や文化の紹介）
 - ・ グループでの交流
 - ・ 質疑応答
- (6) 事前学習：
 - ・ 交流内容の検討，役割分担の決定
 - ・ 会場準備
 - ・ 使用物品の準備，作成
- (7) 事後指導：感想文の提出
- (8) 参加者の感想等：
 - ・ 積極的に英語で話しかける行動力が大事である。
 - ・ 気持ちを伝え合うのに心が大切である。
 - ・ 間違ってもいいから自信を持って話したい。
 - ・ 自分の意見をはっきり主張することが大切である。



海外理解促進のための講演会

- (1) 日 時：平成30年11月26日（月）14時25分から15時15分
- (2) 会 場：本校体育館
- (3) 講 師：氏名 川口 恵 氏
所属 進学塾講師
経歴 元青年海外協力隊員 派遣国：セントルシア（2017～2018）
- (4) 参 加 者： 第1学年生徒241名、教員15名、 計 256名

(5) 内 容 :

- ・ セントルシアでの仕事について
- ・ 現地での活動でつまづいたことについて
- ・ セントルシアの人々について
- ・ 人から聞くことやテレビで視ること以上に自らが現地で体験することに体験の本当の意義がある。



(6) 事前学習 :

世界地図や英文のパンフレット、地理の授業等で基礎知識を高めた。

(7) 事後指導 : アンケートを実施

(8) 参加者の感想等 :

「遠い存在であったヨーロッパ諸国と日本とのつながりを知ることができた。」「EU の大切さや、国境のない世界観が新鮮だった。」「英語同時通訳と共に講演を聴いたので、この英語表現が日本語にするとどうなるのか等の発見があった。」などの感想が寄せられた。講演終了後の質疑応答では、「アメリカ・トランプ大統領との関係」「使用通貨ユーロのデザイン」等の質問が相次いだ。

事業の成果

- ・ 日本の文化・伝統・風習等をあらためて知る機会になった。
- ・ 異文化出身者との交流の中で、日本との相違点に気づき、相手の文化を尊重する事の大切さを学べた
- ・ 「おもてなしの心」の持つ意味を実体験を通じて知ることができた。

今後考えられる新たな取組

- ・ 中国や台湾などの高校生徒の交流会の実施
- ・ グアム友好交流校との英語での討論会の実施
- ・ オーストラリア高校生の長期受入